

## 4. 佐賀県経済を巡る最近の話題

### (1) 自動車関連産業を中心とした製造業の進出

- 豊富な労働力や九州各地へのアクセスの良さなどから、多くの出先工場が立地している。また、福岡県を中心として、九州で自動車産業の集積が進んでいることを背景に、当地にも関連産業の進出が進んだ。

#### ▽佐賀県の工場立地件数

(単位:件)

|          | H10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
|----------|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 工場立地件数合計 | 15  | 16 | 15 | 7  | 11 | 10 | 10 | 14 | 19 | 19 | 15 | 3  |
| うち加工組立型  | 7   | 12 | 9  | 3  | 3  | 1  | 6  | 8  | 10 | 14 | 6  | 2  |

(資料) 九州経済産業局「九州の工場立地動向調査」

### (2) 農作物のブランド化推進と輸出への取り組み

- 当地では、ハウスみかんの収穫量や板海苔の収穫量、二条大麦収穫量では全国一であるなど、第1次産業の割合が比較的高くなっている。また、近年では肥育牛のブランド化進めており、香港や米国のほか中東への輸出に取り組んでいる。

#### ▽ブランド化を図る農産物

| 作物名    | 概要                          |
|--------|-----------------------------|
| ハウスみかん | 台湾でブランド化を進め、同地で27%のシェアを占める。 |
| 肥育牛    | 香港、米国に続き、中東への輸出にも取り組んでいる。   |
| 海苔     | 国内需要拡大や中国への輸出に取り組む。         |

### (3) 九州新幹線・西九州ルート

- 平成20年4月に九州新幹線・西九州ルートが着工した。建設費は約3,700億円、フル規格路線ではないが、博多ー長崎間を現在の最短1時間51分から32分短縮できる見込み。平成22年度予算では、武雄温泉ー諫早間に事業費が配分されたほか、諫早ー長崎間についても、今後、政府の整備基本方針に基づき、認可・着工が検討される予定。

— 九州新幹線・西九州ルートは、並行在来線の経営分離に反対する地元(鹿島市、江北町)の同意が得られず協議が滞っていたが、平成19年12月に佐賀県、長崎県、JR九州の三者合意が成立し、着工認可となった。



(資料) 佐賀県庁HP

以上